

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和7年度】

(評価日 令和8年6月26日)

1 施設の概要

施設名	岩手県立県南青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県胆沢郡金ヶ崎町永沢下館 49-1 電話 0197-44-2124 FAX 0197-44-2126 ホームページ https://iwate-sposhin.jp/kennan/ 電子メール kenritukennan@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例
設置目的	(設置：昭和56年3月27日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境のなかで、規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、協同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与しうる自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】98,785.21㎡ 【建物面積】4,837.78㎡ 【主な施設】○管理・研修棟 ○体育館 ○宿泊棟 ○キャビン ○付帯施設 ○研修機材等 ○駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。		
職員配置、管理体制	4名 (令和7年4月1日現在) (内訳) 正職員 1名 地域職員 3名	組織図 <pre>graph LR ED[教育部門] <--> 連絡調整 BG[事業団事務] ED <--> 協働 BG BG --- GM[総括責任者 1人] GM --- GMAs[総括責任補助者 1人] GMAs --- S1[警備員 2名] GMAs --- S2[警備員 2名] BG <--> 指導監督 履行確認 CBAC[委託業務受託会社] GMAs <--> 業務報告 CBAC</pre>	
利用料金	徴収していない		
開館時間	勤務時間 8時30分～17時15分 ※利用団体がある場合は、24時間	休館日	毎週月曜日(ただし、臨時開所することがある。)、12月28日～1月4日、その他所長が定める臨時の休所日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
第1四半期	8,982	5,758	7,209	7,066	8,869	9,729	7,726	
第2四半期	9,466	4,141	6,852	8,118	8,986	10,185	7,656	
第3四半期	5,782	5,135	4,224	6,491	6,744	6,626	5,844	
第4四半期	3,193	2,691	2,940	4,985	6,670	11,420	5,741	
年間計(実績)	27,423	17,725	21,225	26,660	31,269	37,960	26,968	
年間計(計画)		26,800	26,854	26,908	26,962	27,016		

5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
収入	利用料金収入	0	0	0	0	0	0	
	指定管理料	34,335	36,801	38,096	39,038	38,992	40,985	38,782
	自主事業収入	347	515	432	696	454	509	521
	小計	34,682	37,316	38,528	39,734	39,446	41,494	39,304
支出	人件費	7,105	10,883	11,318	12,576	12,880	14,585	12,448
	維持管理費	26,276	26,802	28,382	29,060	29,373	31,369	28,997
	事業費	0	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	376	457	389	675	393	381	459
	小計	33,757	38,142	40,089	42,311	42,646	46,335	41,905
収支差額	925	△ 826	△1,561	△2,577	△3,200	△4,841	△2,601	

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見(満足度等)の把握方法

把握方法	利用団体毎に利用評価票を提出いただいている。 利用者総合アンケートを実施している。	実施主体	県南青少年の家
------	--	------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 0件、要望 15件、その他 0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
①牛乳のサービスが欲しい。	①ご要望として承り、食堂業者に申し伝えます。		
②バドミントンの羽がボロボロでした。ソフトバレーボールの大きいサイズがあると嬉しいです。	②ご要望として承り、貸出物品の整備の参考とさせていただきます。		
③夜の熱中症が心配。児童の健康管理に不安があるので、エアコンの設置を希望します。	③日中は窓開けるなどの対策をし、扇風機とサーキュレーターを活用していただければと思います。また、引き続き、県にエアコン設置の要望をして参ります。		
④活動場所や浴室の暖簾が打ち合わせと異なっていた。	④当日利用する団体の人数や活動内容などによって、変更することがございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。		
⑤トイレにゴミ箱があるとよい。	⑤女子トイレの個室には設置しておりますが、男子トイレにも設置を検討いたします。		
⑥ドアの開閉音が気になった。また、エアコンの設置をお願いしたい。(今回はなんとかかなりましたが。)	⑥ドアについては、潤滑油をスプレーするなどをして対応してまいります。また、エアコンの設置に		

<p>⑦暑さ対策が難しい。エアコンを設置して欲しい。(同様4件)</p> <p>⑧打合せ後の場所変更に対応するため、調整後のプログラムが欲しい。</p> <p>⑨野外炊事の米の量が多いと感じる。</p> <p>⑩脱衣室に扇風機が欲しい。和室に冷蔵庫が欲しい。</p> <p>⑪研修室にエアコンを設置してほしい。</p> <p>⑫学童野球規格のベース(塁間23m)を設置できるようにしてほしい。</p> <p>⑬バスケットボールのゴールネットが切れていた。</p> <p>⑭Wi-Fiを設置して欲しい。</p> <p>⑮小学生バレーボールコートのラインがはがれているので、貼り直して欲しい。</p>	<p>については、県へ要望してまいります。</p> <p>⑦宿泊棟の部屋、廊下の窓を開け、大型扇風機で常に換気をします。引き続き、エアコン設置の要望をします。</p> <p>⑧場所変更の際には事前連絡や、受付時に確認を徹底します。複数箇所が変更となる場合はプログラムを渡します。</p> <p>⑨現在1人分は1合です。食堂業者に伝えます。</p> <p>⑩各所で扇風機を使用中ですが、余っている場合には移動して使うようにします。冷蔵庫設置の要望をします。</p> <p>⑪設置については県に要望中です。</p> <p>⑫ご要望として承りました。</p> <p>⑬交換しました。</p> <p>⑭設置済みですが、研修棟において研修目的でのみ使用可能です。</p> <p>⑮施設で修繕対応いたします。</p>
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにわかりやすい声の大きさでとても良かった。 ・こちらの活動への相談や協力について親切に対応していただき、ありがとうございました。 ・英語でもたくさん対応して下さってありがたかったです。 ・駐車場まで出迎えて下さり、その後も丁寧に施設内を案内くださいました。 ・とても丁寧に説明していただきました。ありがとうございました。 ・急な予定変更に対応していただき、ありがとうございました。 ・天候の状況により、予定を変更することになりましたが、臨機応変に対応していただき大変ありがたかったです。 ・ていねいに説明していただきました。 ・懇切丁寧 ・親切で過ごしやすかったです。 	

7 業務点検・評価(※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績(指定管理者の自己評価)	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施 2) 県民の平等な利用の確保 3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の施設であることを念頭に、いつでも、誰でも、気軽に、そして公平な利用の確保を図るため、業務内容についての情報公開を適切に行った。また、施設管理部門と教育部門との密接な連携・協働を図るため、所内で十分に協議・協力して管理運営を行った。 ・できるだけ多くの団体に利用いただけるよう、一般企業等の利用も含め利用形態に対応した受け入れを行った。 ・利用者のニーズを勘案し、年間8回の臨時開所を行った。宿泊団体の無い日の体育館の夜間利用は、年間218回行った。 	B
施設の利用状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に掲げる年間利用者数27,016人	年間利用者数 37,960人 対目標値 10,944人増	A

	<p>2) 上記目標値に向けた取組みと、増減内容の把握</p> <p>3) 施設利用促進に係る広報等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の推進と生涯スポーツの振興を図るために、効率的に管理運営を実施した。特に利用者の要望に的確に対応することができるようアンケートの分析や利用者との事前の打ち合わせを行い、運営に反映させるよう努めた。 ・令和7年度の利用者数は37,960人であり、前年度に比べ6,691人(21.4%)増加、計画数値に対しては10,944人(40.5%)上回った。前年度実績を上回った要因としては、年度当初から県南地域全ての幼保、学校、児童クラブ、公民館、商工会等へチラシ配布や訪問等の積極的な働きかけを行った結果、子ども会や公民館等への出前講座及び来所による体験プログラムの利用が増加した他、フェスティバル系のイベント(主催事業)利用者が前年度に比べ2,627人(219%)増加した。 ・各学校、教育事務所その他団体に要覧・所報の配布を行うとともに、幼稚園、児童館、高校、企業や社会教育担当者などターゲットを絞ったチラシを作成し配布を行った。 ・放課後児童クラブに直接訪問し利用促進活動を図った。 ・マスコミ各社へ主催・自主事業等の開催案内及び取材依頼を行い新聞に掲載いただくなどPRに努めた。 ・ホームページ等を活用し、施設の利用方法や空き状況などを利用者に分かりやすく、リアルタイムな情報提供に努め利便性の高い内容になるよう工夫した。 ・インスタグラムを活用し、主催事業の案内や終了事業の写真等を効果的に掲載し広報活動を行った。 	
<p>会計業務の状況</p>	<p>適正な会計業務(収入・支出・契約等)の執行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団会計処理規定に基づき、契約については県会計規則に準じて執行した。 ・事業団会計処理規程に基づき、関係法令等に照らし処理した。また、事業団本部との連携を密にし、関係書類は複数職員で確認するチェック体制を整え処理した。 	<p>B</p>
<p>施設の維持管理状況</p>	<p>1) 施設設備の維持管理等業務の適切な実施</p> <p>2) 公有財産の適切な管理</p> <p>3) 備品について備品台帳との整合性を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による日常管理に加え、委託業者による施設設備の保守委託等により良好な状態を維持するよう努めた。 ・処置が必要な箇所については、速やかに職員または業者による補修・修繕を行った。 ・日常点検及び安全点検を実施し、異常ある場合はその都度、安全及び利用の可否を判断するなど適切な管理に努め、所内会議において職員間で情報共有を図った。 ・損傷箇所を発見した際には、安全性と機能性を回復するため、速やかに対応することを基本にして、職員で修理できるものは修繕材料を調達し、困難なものは業者に発注し修理した(施設修繕0件、設備・備品等修繕28件)。 ・老朽化等使用不能の備品は廃棄処分等の整理を進めた。 ・11月に一斉点検を行い、備品台帳と照合したほか、体育用備品については破損等の有無を点検し適切な管理に努めた。 	<p>B</p>

記録等の整理・保管	各種帳票書類の適正な整理保管	・事業団規定に基づき、類型・年度毎に保管管理した。	B
自主事業等の取組み	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施	<p>・主催事業は全事業を予定どおり実施することができた。「サッカーフェスティバル」は定員 12 団体にに対し応募 16 団体（応募倍率 1.3 倍）、「親子で手作りクリスマス」も定員 60 家族に対し 79 家族（同 1.3 倍）の申込があるなど、軒並み定員を超える応募があり、主催事業は平均 1.1 倍の応募倍率となった。1 月の「冬のおもしろ体験ランド」は、餅まき・そりすべり・スモア体験等多彩なプログラムを行い、また積雪状況も良かったこともあり、過去最高の参加者数（2,936 名前年比 10.3 倍）となった。</p> <p>・実施にあたっては、細部まで内容を詰めていくことを常例とし、所外で行う事業にあつては実地調査を行うなどきめ細かなプログラムを提供するよう努めた。</p> <p>・地域との連携は、子供会等の出前事業への積極対応や、グランドゴルフ等で地域高齢者の利用促進を進めた。</p> <p>・ホームページやインスタグラムを活用し、リアルタイムで情報提供に努めるとともに、利用者の問い合わせ等を想定した利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。</p>	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<p>○成果のあった点</p> <p>新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後の市町・地域への積極的な働きかけの成果により、子ども会や公民館等への出前講座及び来所による体験プログラムの利用が増加し、コロナ禍前の利用者に迫る実績につながった。（R7:37,960 人、R6 年度比：6,691 人増、目標対比：140%）</p> <p>自主事業については、計画した 5 事業（全 8 回）を実施することができ、「冬のおもしろ体験ランド」参加者数は過去最高の 2,936 人となった（前年比：10.3 倍）。今後も、教育部門（研修業務）と連携の上、自主事業や出前講座による利用者増を、施設の実利用促進につなげられるような取組の推進に期待する。</p> <p>○改善を要する点</p> <p>特になし。</p>		A

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置	・管理計画書のとおり防火管理者等の適正配置を行っている。	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応	<p>・寄せられた提言に対しては、利用者等の立場で適切かつ迅速に対応し、その結果を最大限取り入れた業務改善を継続することにより、利用者等の信頼と満足度の向上を図るよう努めた。</p> <p>・利用評価票における意見・要望等は職員間で共有を図り速やかに改善するよう対応に努めた。</p>	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施	<p>・事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って作成した「非常時対応マニュアル」を随時補正し、有事の対応に万全を期した。</p> <p>・自衛消防訓練及び消火訓練など年 2 回実施した。</p>	B
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管理	<p>・年度初めに「コンプライアンスマニュアル」の再確認をするとともに、毎月職員がコンプライアンスに関する自己取組みを発表し、意識の高揚に努めた。</p> <p>・コンプライアンスマニュアルに従い、個人情報が記載された書類等はキャビネットで管理するとともに、</p>	B

		廃棄する場合は、シュレッダー破碎等により外部に流出しないよう管理を行った。	
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づく関係機関等との協力連携及び良好な関係の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に基づく諸報告等については、期限を遵守するとともに、事業団本部と連携を密にし、適正に処理を行った。 ・県による会計実地検査及び事業団内部事務調査における指導事項は無かった。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。 		B

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
サービス向上の取り組み	サービス向上のための研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び事業団が主催する研修会に積極的に参加した。 ・接遇研修を受講後、所員に伝達講習を行い、サービス向上を徹底した。 	B
利用者サービス	<p>利用者サービス向上に向けた方策に基づく、適切な利用者サービスの実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境及び設備機能の維持（衛生環境保持、安全点検、修繕等） 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者に対する柔軟な対応、施設設備の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合わせて、休所日である月曜日を8回、臨時開所するとともに、宿泊団体の利用がないときの夜間の体育館を218回開放するなど、利用者の便宜を図った。 ・利用者の意見を反映した事業内容を検討し、開所時間や開所日の弾力的な運用等を実施した。 ・適正な施設環境及び設備機能の維持のため、必要に応じ専門業者へ維持保全に関する業務委託を行った。また、定期的な安全点検の実施、速やかな修繕対応に努めた。 ・主催事業に障がい者の方に参加いただいたことで、身障者トイレ等の課題を把握し、改善について県へ予算要求を行った。 	B
利用者アンケート等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者アンケートや意見箱の設置による利用者ニーズの把握 2) アンケート結果に基づく業務改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には団体利用の都度、利用評価票の提出をお願いし、多様化する利用者ニーズの把握を行った。 ・事業団共通アンケートの集計、分析を行い、「施設」・「職員」・「満足度」の評価結果を職員で共有するとともにホームページに掲載するなど、施設運営や事業計画に反映させ、サービスの向上を図った。また、エアコン設置など大規模改修については県へ要望した。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ○成果のあった日 休所日の臨時開所（8回）や体育館の夜間開放（218回）を行うなど、利用者のニーズに合わせた運営を行っているほか、利用者アンケートの実施結果を職員で共有し、施設運営に活かしている。 ○改善を要する点 特になし。 		B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
----	--------------	----------------	------

事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 ・収支実績は、限られた予算の中で計画的に予算執行を行い施設運営ができた。 	B
指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人としての活動について、毎年、公益認定委員会の評価を受けている。 ・当事業団は、昭和60年の設立以来、借入金及び貸付金等はない。 ・業務を適正に成し得るだけの有資格者、経験者を有しているほか、職員の資質向上にも努めており、十分な管理能力を保持していると考えられる。 ・経費縮減等の努力を継続して行っている 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。 		B

※(注1) 県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」
指定管理者記載欄：「実績(自己評価)」

(注2) 評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績(効果)があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績(効果)があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校外の子どもの居場所における体験活動の支援として、「放課後等デイサービス」や「子ども食堂」との連携を行い、対象別に施設活用を促す提案チラシの配付、連携協議では、「市町職員・地域づくり職員等研修」、「児童会・生徒会リーダー研修」、「冬休みの学童クラブ支援」等のチラシ配布し、専北福祉専門学校・金ヶ崎高校・金ヶ崎中学校の校長との連携協議を行った。 ・ 金ヶ崎町グラウンド・ゴルフ協会と連携し事業団理事長杯グラウンド・ゴルフ大会へ参加し、高齢者の利用促進が図れた。 ・ 大人を対象とした事業を近隣の市町広報誌に掲載を依頼し、広く地域住民の方に周知を図り参加者の増に繋ぐことができた。 ・ 「冬のおもしろ体験ランド」において、2,936人の利用があり大幅増となった。充実したプログラム内容をこまめにPRしたことが功を奏した。 ・ 年間8回の臨時開所により、利用者の利便性を図った。 ・ 夜間の体育館を開放し、近隣のスポーツチームやスポーツ少年団の活動場所を提供するなど、利用回数は218回であった。 ・ 申請書作成負担の軽減のため、様式改正(簡素化)した。利用団体情報記入欄のスペースを拡大して、見やすく書きやすくし、使用料計算欄を削除した。【R8.3.10付教育長改正承認。R8.4.1から適用】 ・ 「熊対策」に係る職場研修の実施として、盛岡市動物公園(ZOOMO)に於いて「熊の生態」、「効果的な被害予防対策」等についてレクチャーを頂き、現場(侵入・遭遇防止・遭遇時行動)に重点を置いた「研修」を予定している。 ・ 「利用者受付業務時間外における電話受付の制限」において、リモートホン機器を導入し時間外の受付制限を自動化し、職員の業務改善を行った。 ・ 「施設利用団体の整序」の取組みを開始し、施設利用や活動プログラム計画を持たない団体は、受入れないこととした。 ・ 施設の早期オープンによる「被災支援」の実施として、野球場及び多目的グラウンドについて2週間前倒しして、利用団体の受入れを行った。(岩手日報掲載) ・ 野球場のリニューアル工事を行い利用促進を図った結果、利用団体からは好評の意見をいただき、利用団体
--

<p>数も増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中学生人気イラスト作家」の個展（作家名：HIKARU、花巻北中3年、本名：大平ひかる）を開催し、一般入場も歓迎し施設の認知度向上を図った。（岩手日報掲載） 「熱中症予防対策」の取組として、「暑さ指数」の掲示、教室・宿直室の簡易エアコンの設置、食堂の24時間冷房（避難所）などを行い、改善を図った。 花壇や玄関脇プランターに夏花を植え、景観環境にも配慮して利用団体を迎えた。 委託業者と「給食会議」を開催し、利用者ニーズに対応した食事の提供等により好評を得た。
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化による破損が多発しており、予算的な制約もあり職員が応急対応することも多い。職員の負担も大きく、原因が解消されない限り根本的な解決とはならない。築45年を迎える施設群のため、設備の不具合が複数同時に発生しており、優先順位の判断も難しくなっている。 インスタグラムを活用し当所の施設の紹介や年間行事と提供プログラムの紹介等、魅力ある事業の情報の提供を行い、利用者が気軽に参加できる場の提供を今後も継続していく。 今後、重点的に取組む事項は次のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 【県施策の推進】生涯学習文化財課及び教育事務所との連携により、「岩手県教育振興計画」及び「教育振興運動推進プラン」の推進にあたる。 【セーフティネット】保育機関・学校のみならず、多様な子どもたち（学校不適応・貧困による教育格差・障がい等）の体験活動の支援にあたる。 【社会教育施設】日常的な施設利用と子育て支援・読書推進・成人の生きがいをづくり、子どもの「第3の居場所」としての利用奨励にあたる。 【安心安全な施設経営】日常の施設管理に加え、利用者と情報共有を図りながら「熊対策」及び「熱中症対策」、「カスハラ対策」にあたる。
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化計画（長期修繕計画）の策定を要望する。施設設備の最適化時期が明示された当該計画を共有することで、研修活動プログラムの改良や新規開発等のソフト面の充実及び利用者からの苦情対応においても具体的で丁寧な説明が可能になるものとする。 「炊事場大型テント設置」及び「エアコン設置」については、利用者の安心、安全、快適な施設利用を確保するため、特に優先して予算措置願いたいこと。何れも6年前からの継続要望であり、これ以上の先送りは現場の疲弊を招くだけであることを理解願いたい。 当初予算内報において、不採択理由及び要望継続の可否等県の考え方を共有させてほしいこと。

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>施設の臨時開所や、利用者層の拡大につながる事業の実施及び広報活動を適切に行っており、施設利用者からも一定の評価を得ている。特に、主催事業「冬のおもしろ体験ランド」においては過去最高となる2,936人の利用があるなど、魅力ある事業の企画・実施により施設の認知度向上及び利用促進に寄与している。</p> <p>また、利用者アンケートの活用や丁寧な対応により、利用者からも高い評価を得ており、総じて適切な管理運営がなされている。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、指定管理者及び教育企画室施設整備管財担当との連携により、要修繕箇所を把握し優先順位を整理して施設改修・環境整備を行った。大規模修繕は関係機関と調整を図りながら計画的な対応を進めていく。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>管理料積算にあたり、人件費や物価の変動等を適切に反映するよう検討する。</p>

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
該当なし
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日：令和 年 月 日）

改善状況の確認
(確認年月日 令和 年 月 日)